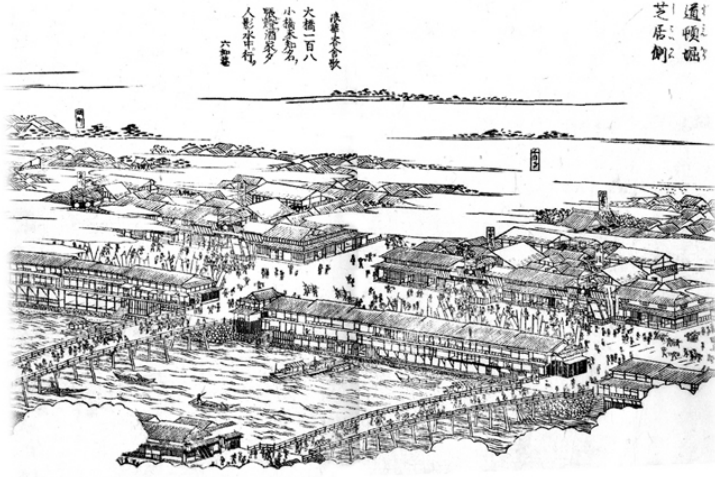


歌舞伎俳優既成者研修発表会

第24回 上方歌舞伎会

平成26年 8月23日(土)・24日(日) 午前11時・午後4時開演



遠藤 通明
芝居 劇
大橋 三八
小橋 未生
藤原 清少
人形 半生
六郎

信州川中島合戦

輝虎配膳の場

しんしゅう
かわなかしまからせん

越後の長尾輝虎(上杉謙信のこと)は武田方の軍師山本勘助を味方につけようと考へ、勘助の母越路と嫁お勝を呼び寄せ、接待します。せつかく輝虎自ら運んだ膳を越路は足蹴にし、輝虎は怒りを爆発させます。嫁お勝は琴を弾きながら姑の助命を切々と訴えます。その姿に輝虎は心を打たれ、越路を許すのでした。

義経千本桜

よしつねせんほんざくら

下市村椎の木の場

ここは吉野下市村の街道筋にある茶店、平維盛の妻若葉の内侍と嫡子の六代君、家臣の主馬小金吾が休んでいます。そこへがみの権太が通りかかり気易く六代君の相手をします。しかし、二行の荷物をわざと取り違え、二十両が無くなったと騒ぎ始めます。怒った小金吾は刀に手をかけますが、若葉の内侍が諫めて金子を権太に渡すようにと命じます。無念ながらも一行はこの場を立ち去るのです。

同竹藪小金吾討死の場

高野山を目指す若葉の内侍一行は、これを追う猪熊大之進に見つかってしまいます。小金吾は大之進を打ち果たすも深手を負い、若葉の内侍と六代君を逃がし、息を引き取ります。その後、弥左衛門が通りかかり、何を思いついたのか小金吾の首を落とすのでした。

同釣瓶鮎屋の場

下市村名代の釣瓶鮎屋では弥助という男が奉公しています。主の弥左衛門は娘お里の婿にと考えています。そこへお里の兄権太がやってきて母お米を騙し、三貫目の銀を手に入れますが、弥左衛門の帰りに気付くと奥の間に隠れます。弥左衛門は

関西の若手俳優有志による勉強会「若鮎の会」が昭和五十五年に発足し、以後十年間にわたり毎夏、公演が行われました。平成二年からは若鮎の会のメンバーにその他の上方系の俳優を加え、新たな勉強の場として結成されたのが国立文楽劇場の「上方歌舞伎会」です。上方歌舞伎の継承を志し、日頃舞台を脇で支える俳優達が大会に挑みます。彼らの今後の飛躍につながるこの盛夏の会にご期待ください。

首を鮎桶に隠し、弥助を呼ぶと、その態度が一変します。実は、弥助は弥左衛門が大恩受けた平重盛の子息、平維盛であったのです。しかし、既に弥左衛門は源頼朝の家臣梶原景時から、維盛の首を差し出すように命じられていたので、身を隠すようにと言上します。そこへ訪ねてきたのが若葉の内侍と六代君です。互いの無事を喜ぶ姿を見て、全てを理解したお里は三人を逃がします。これを知った権太は、鮎桶を抱え駆け出して行きます。そこに梶原一行が現れ、維盛の首と若葉の内侍と六代君を差し出すように命じます。権太が再び姿を現し、首と若葉の内侍と六代君を差し出すと、梶原は一行を引き連れて立ち去ります。褒美に貰った頼朝着用の陣羽織を手を喜ぶ権太を、怒った弥左衛門は刀で刺してしまいます。しかし、苦しい息の中で、合図の笛を吹くと、維盛たちが無事な姿を見せました。実は、権太は今日こそ改心しようと、弥左衛門が持ち帰った小金吾の首を維盛の首として、また、妻の小せんを若葉の内侍、子の善太を六代君の身代りとして差し出したことを告白します。弥左衛門夫婦は何故もう少し早く改心してくれなかったのかと嘆き悲しみます。

やがて維盛が頼朝への恨みを晴らさんと、陣羽織を手にする……そこには頼朝の深い思いが込められていたのでした。



片岡 松四郎

片岡 松十郎

片岡 松寿

片岡 比奈三

片岡 當史弥

片岡 當吉郎

片岡 千次郎

片岡 千壽

坂東 竹朗

中村 翫之

中村 颯大

中村 翫政

片岡 りき彌

片岡 佑次郎

片岡 松太郎

(五十音順)

予約開始

7月11日(金) 午前10時～
〈電話〉国立劇場チケットセンター【午前10時～午後6時】
☎ 0570(07)9900
☎ 03(3230)3000 【一部IP電話等】
〈インターネット〉<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]
※一般のみ <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]
※この公演はインターネット予約の順、座席選択をご利用いただけます。

窓口販売開始

7月12日(土) チケット売場【午前10時～午後6時】
※窓口販売用には別枠でのお取り置きはございません

ご観劇料

一般 4,100円・学生 2,900円

※障害者の方は2割引です(一般のみ)。
※車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問合せください。

一般のみの取扱い チケットぴあ ☎ 0570(02)9999 [Pコード:434-730]
7月11日(金)より ローソンチケット ☎ 0570(000)407 [Lコード:58993]

国立文楽劇場
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
☎06(6212)2531(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/>
地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より東へ徒歩約1分
※駐車場がございますのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※内容に一部変更がある場合がございます。予めご了承ください。